

コロナ禍 高齢者らの買い物支援

公民館巡り 移動販売

読谷村・漁協・商工会が提携

【読谷】村が鮮魚や日用品などを陳列した移動販売車で公民館などを巡る事業を始め、地域ににぎわいを生んでいく。コロナ禍で高齢者らの買い物支援しながら地産地消も推進することが目的で、村漁業協同組合や村商工会と連携した取り組み。住民からは「買い物が増えてよかった」と好評だ。

(中部報道部・宮里美紀)

免許返納などのため買い物に行くのが難しくなるほか、新型コロナウイルスの影響で外出を控える村民の生活の利便性を向上させるため、村が移動販売車2台を購入した。本年度末まで村漁協と村商工会が1台ずつ借りる契約で、村漁協は6月、村商工会は7月から移動販売を始めた。販売車は冷蔵機能付きで、村漁協はホッキ貝やホタテ、マクロなどの刺し身に生モズクを陳列。常温の棚には魚天

ぶらや弁当、小魚などの干物が並ぶ。村商工会はまつだ商會が運営し、洗剤や村指定ごみ袋などの日用品、調味料やインスタント食品などをそろえる。冷蔵棚には乳製品のほか島豆腐やゆい豆腐もある。

移動販売は月々金曜日の午前10時～午後4時ごろ。近くに大型スーパーがない地域を中心に各公民館を週に1度のペースで巡っている。

10日午前11時半、儀間公民館では移動販売を自営で近隣の住民らが訪れた。店員から「豆腐もおいしいですよ」などと声を掛けられ、購入した客が「おいしかったらまた買っね」と応えるなど会話を楽しむ様子も見られた。

主婦の仲宗根好子さん(72)はカーエーの刺し身(3000円)を購入。「前から気になっていたが初めて来た。私は運転してあちこち行くけど、地域まで来てくれて、刺し身も手ごろな値段で買いやすい」と声を弾ませた。

まつだ商會は今後、利用者の希望を募って自宅近くでの移動販売も検討している。

巡る公民館は、月曜に宇座渡慶次、高志保。火曜は瀬名波、儀間、横田、長浜。水曜は渡真知、大木、比謝、大湾、古堅、大添。木曜は波平、座喜味、伊良皆。金曜は楚辺、都屋。天候不良の場合は休み。時間帯など問い合わせは村商工観光課、電話098(982)9216。



村の移動販売車で買い物をする地域の住民=10日、読谷村長浜・儀間公民館



洗剤やお茶など生活用品が並ぶ村の移動販売車の陳列棚

普天間小女子

中頭ミニバスケ

【宜野湾】普天間小学校の女子バスケットボール部は、7月下旬に開かれた「第40回中頭地区春季ミニバスケットボール大会」で優勝した。9月18日からの県大会に出場する。

同部が中頭地区大会で優勝するのは約30年以上ぶり。7月24日に沖縄市体育館での決勝戦で中城南小学校を制し、出場校56校の頂点に立った。

ル普ケ... た張げの導きを(並)キ